

**取扱説明書B** 保証書付き

**ご使用前に必ずお読みください**

※取り扱説明書内のイラストは、製品の仕様変更により、実際の製品と若干異なる場合があります。  
※デザイン及び仕様につきましては改良のため予告なしに変更することがございます。

接続機器名/	BT800
パスキー/	0000 (ゼロを4つ)

**BT 800**  
BluetoothハンズフリーME9DC

この度は弊社製品をお買い求めいただきましてありがとうございます。ご使用前に本書(取扱説明書)及び接続するBluetooth機器の取扱説明書をお読みください。

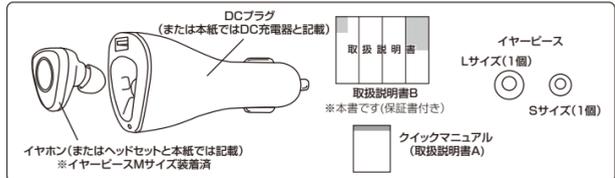
**1 はじめに**

※本製品はBluetooth対応の携帯電話/スマートフォンなどにお使いいただけますが、本書の中では接続機器を「携帯電話」と記載しております。

●本書ではボタンの押し方を以下のように矢印で示しています。

<b>短く押す</b>	<b>短く連続で押す</b>	<b>長押しする</b>
▶例) 短く1回押す	▶▶例) 連続で2回押す	▶▶▶例) 約4秒間長押しする

●セッティングの確認 ●セッティングがすべてそろっていることを確認してください。



●安全にご使用いただくために

●以下の警告/注意をお読みの上、正しくご使用ください。警告/注意に従われない場合など、誤ったご使用をされた際の事故、故障、破損などにつきましては、接続する携帯電話機も含めて当社では一切その責任、保証は負いかねます。

- 警告** この表示は、取扱いを誤った場合、「死にまたは重傷を負う可能性が想定される」内容です。
- 注意** この表示は、取扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみが発生が想定される」内容です。
- 右の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。
- 禁止(してはいけないこと)を示します。
- 強制指示(必ず実行していただくこと)を示します。

- 警告**
- 火の中に投下したり、高温(50℃以上)の環境下に保管、放置しないでください。  
イヤホンの内蔵充電電池を破裂、発火、発熱させる原因となります。お車のダッシュボードも、直射日光の下では高温となりますので、炎天下の車内への放置はやめてください。グローブボックス内も高温となる場合がありますので、長期間の車内への保管、放置もやめてください。
  - 濡らさないでください。  
濡れた手でイヤホン本体やDC充電器にさわらないでください。  
本製品は非防水です。濡らしたり、雨、雪、霧などの状況下に屋外で使用しないでください。また、汗などで濡れている場合は拭き取ってから使用してください。水などが内部に入ると、火災、発熱、感電、故障、けがなどの原因となります。
  - 釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、強いショックを与えないでください。  
イヤホンの内蔵充電電池を破裂、発火、発熱、漏液させる原因となります。
  - 分解、改造、後加工をしないでください。  
火災、感電、故障、けがなどの原因となります。また、イヤホンの内蔵充電電池を破裂、発火、発熱させる原因となります。イヤホンの内蔵充電電池は取り外したり、交換はできません。これらが起因する携帯電話機のトラブルに関して、当社は責任を負いかねます。また、DC充電器を分解/切断しての直接配線などは絶対にやめてください。

走行中の運転者による携帯電話及び本製品の操作、ご使用は絶対にやめてください。  
運転者による携帯電話の操作は事故などの原因となります。また、本製品の連続的な操作、取扱いも運転操作の妨げになりますのでやめてください。本製品のいかなる操作も、お車を安全な場所に駐車してからおこなってください。

小さなお子様(乳幼児)やペットなどには絶対に与えないでください。  
小さな部品を飲み込むなど、事故のおそれがあります。

付属のDC充電器は、DC12/24Vのマイナスアース車で使用してください。  
指定外の電源、電圧で使用すると、感電、発火、発熱、故障、けがの原因となります。付属のDC充電器は自動車専用です。お車のアクセサリソケット電源以外での使用はよくありません。また、DC充電器をご使用する際は、車のバッテリー保護のために必ずエンジンがかけた状態で使用してください。

電気製品または高周波無線機器の電源を切ることが定められている場所(病院、交通機関、一部の工事現場など)では、各施設の指示に従ってイヤホンの電源をオフにしてください。

本製品と同じ2.4GHz帯を使用した機器のまわりでは使用しないでください。  
本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、各種無線局が運用されています。本製品を使用する際、近くでこれらの機器の使用及び各種無線局が運用されていないことを確認してください。

飛行機に搭乗する際は、搭乗前にイヤホンの電源をオフにして、機内では絶対に使用しないでください。  
航空機の運航に影響を及ぼすおそれがあります。

**注意**

- お車のエアバッグ拡張範囲に本製品や付属品を放置、保管しないでください。  
エアバッグ作動時に影響が出たり、事故、けがの原因になります。
- 極端な低温(0℃以下)での保管、放置はやめてください。  
製品の故障や、性能を損ねるおそれがあります。
- 本体並びにDC充電器を屋外(車外)や湿度の高い場所、高温または低温の状況下で使用しないでください。  
製品の故障や、性能を損ねるおそれがあります。
- ポケットやバッグに収納するときは、イヤホンの電源をオフにしてください。  
メインスイッチが押されて、携帯電話が誤って発信をするおそれがあります。
- クリーニングするときに研磨剤入りの溶剤は使用しないでください。  
本製品に傷がついたり、表面の塗装部がはがれるおそれがあります。
- 長期間使用しない場合は、携帯電話とのペアリングを解除して電源を切り、高温や低温を避け、乾燥したホコリの少ない場所に保管してください。
- DCプラグ類を抜く際は、必ず水平にゆっくり抜いてください。  
回転させたり、斜めに無理に抜くと破損の原因になります。
- DC充電器のヒューズが破損した際には、お車のヒューズボックスにあるすべてのヒューズに破損がないかを確認してください。
- DC充電器の接続は確実におこなってください。  
使用される前に、DC充電器がお車のアクセサリソケットに奥まで確実に差し込まれているかご確認ください。また走行中にも振動によりDC充電器が外れることがあります。接触不良の状態を使用した場合、DC充電器やお車のヒューズ、アクセサリソケット破損の原因になります(一部の車種では、アクセサリソケットが強く接触不良を起こす場合があります)。
- 付属しているDC充電器以外で、イヤホンに充電しないでください。  
製品の故障や、性能を損ねるおそれがあります。
- DC充電器及びイヤホンのLED光源を直視しないでください。  
目の健康をそこねるおそれがあります。

- 取扱い上のお断り
- ご使用にあたっては各都道府県や各地域の条例に従ってください。
  - 本製品の使用中に起こった、メモリーダイヤル及びデータの消失や通信不能などの付随的保証は一切負いかねます。
  - 本製品を含むBluetooth機器同士で通話をする、通話開始時に音がかえる場合がありますが、異常ではありません。
- Bluetoothについて
- Bluetoothとは、携帯情報機器向けの無線通信技術です。接続機器とケーブルを使わずにワイヤレス接続し、音声やデータをやりとることができます。
- 本製品について
- 本製品のイヤホンはBluetooth Version 4.1 Class2 に準拠、適合しております。上位互換性から、Bluetooth Version 4.0、3.0や2.1の携帯電話とも接続してご使用いただけますが、当社で発表する適合機種以外の携帯電話機とのご使用は保証しておりません。
  - 適合可能な携帯電話に関する情報については当社HP(箱記載)の適合表にてご確認ください。
  - 付属のイヤークリップは使用状況によって寿命が著しく異なります。ご使用前の不良や不具合を除き、製品保証の対象外とさせていただきます。
  - 内蔵充電電池は消耗品ですので、充電電池の劣化による通話/スタンバイ時間の短縮は製品保証の対象にはなりません。また、充電電池の交換はできません。
  - 仕様および外観は、改良のため予告なしに変更する場合がありますので、ご了承ください。

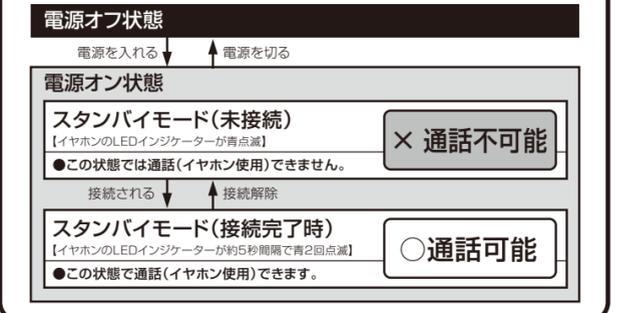
**2 使い方の説明**

**お買い求めいただいた後、ご使用前に必ずやっていただくこと**

- ①本製品イヤホンに充電する**  
本製品は約70%以上の充電状態で出荷しておりますが、ご使用前にイヤホンに充電して、満充電にしてください。(→「4.充電する」を参照)
- ②耳に合うサイズのイヤークリップを選ぶ**  
付属の3サイズから耳に合う物を選んで取り付けてください。(→「5.イヤークリップ」を参照)
- ③お手持ちの携帯電話やスマートフォンと本製品イヤホンにペアリングする**  
本製品(Bluetooth)イヤホンはそのままではご使用いただけません。お手持ちの携帯電話やスマートフォンと、本製品をお互いに登録設定することで、無線通話が可能となります。この設定をペアリングといいます。(→別紙クイックガイド「ペアリングの方法」を参照)。

**ペアリングしたあとの使い方 (→「6.基本操作」を参照)**

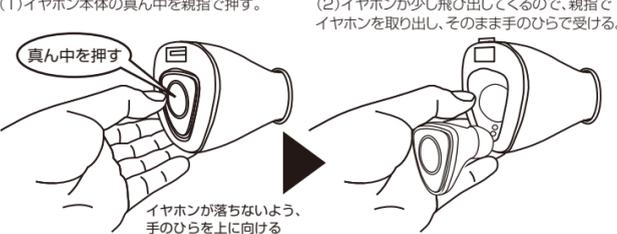
ペアリング済みの携帯電話とイヤホンに「接続」することで、ワイヤレス(無線)ハンズフリー通話が可能になります。



●●● DCプラグからの取り外し方

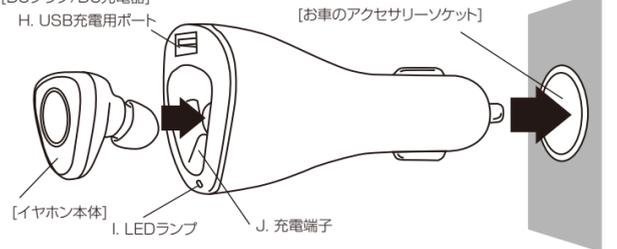
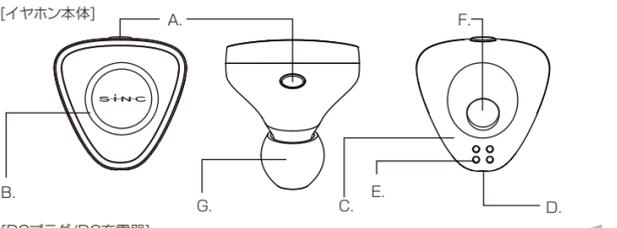
●運転しながらの本製品の脱着や取り付け、スイッチ操作は非常に危険ですので、必ず安全な場所にお車を一旦停めてから行ってください。  
※本製品を操作中の事故・故障・破損に関しては、当社では一切の責任を負いません。

＜取り外し方法＞



- DCプラグからイヤホンを取り出すと、イヤホンの電源が自動でオンになります
- その後、予めペアリング登録した携帯電話が数メートル以内にある場合、電源→の後に、自動で接続を試行します。
- 着信時はDCプラグからイヤホンを取り出すだけで、<自動電源オン→自動接続→自動受話>の順に動作します。DCプラグにイヤホンに戻すと、自動で終話し、イヤホンの電源も自動で切れます。
- ※DCプラグから相手と会話につながるまで、数秒から携帯電話によっては最大10秒かかる場合があります。
- ※携帯電話によっては、自動接続、自動受話ができない場合があります。その場合は携帯電話側で操作してください。
- ※イヤホンにDCプラグに戻した時に正常にセットされない、DCプラグのLEDが赤/青交互点滅で警告します。その場合は、再度イヤホンにセットしなおしてください。

**3 製品仕様**



名称	機能説明
A. メインスイッチ	主に電源のオン/オフ、通話操作、ペアリングなどに使用します
B. LEDインジケータ	青色と赤色のLEDを内蔵。イヤホンの状態を表示します
C. 充電電池 (内蔵)	リチウムポリマー電池。充電電池の交換はできません
D. マイク	通話用マイクです
E. 充電端子	濡らしたり、汚れたら拭き取って電源を切って汚れを拭きとって、よく乾かしてから、ご使用ください。
F. スピーカー	通話用スピーカーです
G. イヤークリップ	予備のイヤークリップ付き
H. USB充電ポート	USBケーブル(付属していません)を挿せば、携帯電話機などを最大5V2Aで充電可能です。
I. LEDランプ	イヤホンの充電状態やセットが正常かどうかを赤・青の光で表示します。
J. 充電端子	濡らしたり、汚したり、車のアクセサリソケットに挿した状態で手で触らないでください。

●●● 対応プロファイル

- HFP (Hands-Free Profile)/ハンズフリープロファイル
- HSP (Headset Profile)/ヘッドセットプロファイル
- A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) 高度オーディオ配信プロファイル

●●● 商標について

- Bluetoothとそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INC.の登録商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

項目	仕様	備考
Bluetooth仕様	Version 4.1 Class2	
Bluetooth対応プロファイル	HSP, HFP, A2DP	
周波数	2.4 GHz スペクトラム	
使用可能距離	見通し 10 m	
電池形式/容量	リチウムポリマー電池	
充電時間	約 2 時間	※1
通話時間	最大約 3 時間	※1
スタンバイ時間	最大約 100時間	※1
DCプラグ 寸法	H41 × W41 × D91 mm	
イヤホン 寸法	H26 × W26 × D23 mm(イヤークリップを除く)	※2
イヤホン 重量	約5 g	
マルチポイント	○ (2台まで対応)	
マルチペアリング	○ (8台まで対応)	※3
アラーム音	あり	
充電端子	同梱DCプラグ専用充電端子	
接続機器表示名	BT800	※4
パスキーコード	0000 (ゼロを4つ)	※5

- ※1 使用状況、携帯電話の機種、使用環境、動作条件などによって変わります。
- ※2 イヤークリップを装着していない状態の数値です。
- ※3 電源オフにしてから2台までの端末機器とのペアリング履歴を記憶できます(同時に待ち受けできるわけではありません)。
- ※4 接続機器表示名は、携帯電話や他のBluetooth機器でサーチ(検索)された際に表示される名称です。
- ※5 パスキーコードは工場設定のコードです。携帯電話とペアリングする際に必要となる場合があります。

**保証書**

**4 充電する**

- 充電をはじめる前には必ずお読みください。
- 充電には、必ず付属のDCプラグを使用してください。
- イヤホンには充電電池が内蔵されています。使用前に十分に充電してください。
- 出荷時に約70%以上の充電を行っておりますが、はじめてご使用になる場合は満充電になるまで数分～最大で約2時間充電する必要があります(本体の充電電圧によるはじめての充電時間は異なります)。
- USBケーブル/充電器の充電プラグなどをお車のアクセサリソケットやイヤホンに収納するDCプラグ内に絶対に入れないでください。
- DCプラグを外す際には、必ずプラグ本体をしっかり持って、水平にゆっくり抜いてください。
- イヤホンを長期間使用していませんか。充電電池が完全放電した状態では、LEDインジケータが点灯するまで時間がかかる場合があります。(数分かかる場合もあります)

**5 イヤークリップ**

- 本製品は出荷時にイヤークリップ(Mサイズ)が取り付けられていますが、より大きいLサイズとより小さいSサイズも同梱しております。耳に合わせてイヤークリップのサイズを選んでからご使用ください。
- イヤークリップは、つまんで、ねじりながら取り外して交換してください。
- ※無理に剥がすと、破れ、切れなど破損の原因になります。粉砕、破損した場合でイヤークリップだけをお買い求めいただきたい場合は、商品をお買い求めの販売店にお問い合わせください(お取り寄せとなります)。
- イヤークリップがきちんとイヤホンのスピーカ一部にはまっている事を確認してから、耳にはめてください。

**■主要操作一覧**

LEDインジケータ	パターン	説明
5秒3回青色点滅	接続OK	
青色点滅	未接続	
赤色点滅	電源オフ時	
赤/青色交互点滅	ペアリングモード	

DCプラグにお車から通電されている場合でイヤホンが正常にセットされていない時は、DCプラグのLEDが赤/青交互に点滅して警告をしますので、再度セットしなおしてください。

機能/状況	操作	LED表示	音声案内
電源 ON	メインスイッチを 2 秒長押し	青 2 回以上点滅	"Power on"
電源 OFF	メインスイッチを 6 秒長押し	赤 3 回点滅	"Power off"
ペアリングモード	OFF 状態からメインスイッチを 4 秒長押し (300 秒放置すると電源オフになります)	赤 / 青交互点滅	"Pairing"
ペアリングなし		青 点滅	-
ペアリング完了		青 5 回点滅	"Pi" Connected
待機 (Connected)		5 秒間青 2 回点滅	
接続解除 (Disconnect)			
音量調節	非対応		
再生開始 / 一時停止	接続中、メインスイッチを 1 回押す	再生時、5 秒間青 3 回点滅	
リダイヤル	メインスイッチを短く 2 回押し		"Last number redial"
Siri 起動 (iPhone)	メインスイッチを 2 秒長押し	5 秒間青 2 回点滅	"Pi" Voice dial"
着信		青 速い点滅	呼び出し音
受け取る / 切る	着信時、メインスイッチを 1 回押し		"Pi"
切り替え	通話時、メインスイッチを 2 秒長押し		"Pi"
再生開始 / 解除	非対応		3 秒間 "PoPo"
着信拒否	着信時、メインスイッチを 4 秒間押し		PoPo
充電警告			60 秒間 "Low Battery"
充電中		DC プラグ LED が赤点灯	
充電完了		DC プラグ LED が青点灯	
リセット	ペアリングモード時メインスイッチ 2 回押し	赤 / 青 2 回交互点滅	

# 保証書

## \*\*\* 代表機種ペアリング手順

※必ず携帯電話・スマートフォンの取扱説明書を読んでから手順をご確認ください。携帯電話・スマートフォンのソフトウェアバージョンアップにより方法が異なる場合もあります。  
※スマートペアリングの際、自動的に「スキ―入力画面が表示されたり、ペアリング手順の一部が省略または変更される場合があります（携帯電話のBluetoothがバージョン2.1+EDR以上であれば「スキ―」の入力が省略されるなど）  
※「BT○○○」には商品の品番（数字）が表示されます。  
※手順は概略「ず」で一字一句正確なものではありません。確認及び選択時の決定キー操作などが省略されている場合があります。  
※記載のない機種につきましては、弊社ホームページにてご確認ください。

docomo 携帯電話機（例：docomo 富士通 F-07F）	
1	メニュー画面を開き、「便利ツール」を選択する。
2	開いたリストから[Bluetooth]を選択して決定キーを押す。
3	【新規機器登録】を選択し、「登録する機器を登録待ち状態にしてください」という表示が出る。
4	イヤホン本体をペアリングモードにする。（LEDインジケータ―が赤/青交互点滅になる。）
5	表示された「BT○○○」を選択して「登録」キーを押す。
6	「BT○○○」を確認しますか?と表示される。
7	「はい」を選択。
8	「BT○○○」を機器登録しましたと表示される。
9	「BT○○○」が登録機器リストに表示される。
10	再度「BT○○○」を選択して「接続」キーを押す。
11	「BT○○○」接続しましたと表示され、イヤホンがスタンバイモード（自動接続完了）になる。

iPhone（例：Apple iPhone6/iOS 8.0）	
1	ホーム画面を開いて「設定」を選択する。
2	「Bluetooth」をONにする（右にスライド）
3	イヤホン本体をペアリングモードにする。（LEDインジケータ―が赤/青交互点滅になる。）
4	自動的にデバイスのスキ―が染まる。
5	スキ―が染まるまで、数秒～十数秒待たず「デバイス」のリストに「BT○○○」と表示が出る。
6	表示されたリストのBT○○○をタップする。
7	「使用可能な機器リストにBT○○○が表示されます。」という表示が出ます。
8	「BT○○○」が表示され、その下に「接続されました」という表示が並びます。
9	イヤホンがスタンバイモード（自動接続完了）になる。

Android Ver.4.4 スマートフォン（例：docomo ソニーモバイル SO-03F [Xperia Z2]）	
1	ホーム画面表示からアプリボタンを押す。
2	「設定」を押して選択する。
3	リスト内Bluetoothのスイッチを右にスライドさせONにする。
4	Bluetoothを選択。
5	イヤホン本体をペアリングモードにする。（LEDインジケータ―が赤/青交互点滅になる。）
6	「機器の検出」をタップ
7	「使用可能な機器リストにBT○○○が表示されます。」という表示が出ます。
8	表示されたリストのBT○○○をタップする。
9	「ペアリングされた機器リストのBT○○○に「」に接続しましたと表示されイヤホンがスタンバイモード（自動接続完了）になる。

SoftBank 携帯電話機（例：SoftBank シュープ202SH for Big PANTONE WATERPROOF）	
1	メニュー画面を開き、「外部接続」を選択。
2	「Bluetooth」を選択。
3	イヤホン本体をペアリングモードにする。（LEDインジケータ―が赤/青交互点滅になる。）
4	「デバイス登録」を選択。
5	「Bluetooth機器を登録待ち状態にしてください」と表示される。
6	「登録候補一覧」が表示される。
7	リストに表示された「BT○○○」を選択する。
8	「登録」キーを押す。
9	「（場合によって）○○○○」を入力。
10	「BT○○○」をデバイスリストに加えますか?と表示されるので、「はい」を押す。
11	「ハンズフリー機器接続しました」と表示。
12	「登録済みデバイスリストにBT○○○があることを確認。」という表示が出る。
13	イヤホンがスタンバイモード（自動接続完了）になる。

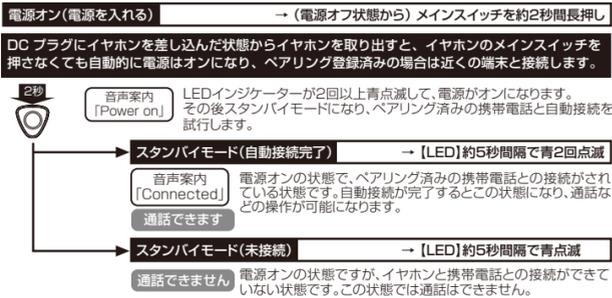
Android Ver.2.3 スマートフォン（例：docomo ソニーエリクソン SO-01C [Xperia arc]）	
1	ホーム画面から「設定」（または「機能設定」や「本体設定」）アイコンをタップ（画面を押す）する。
2	設定リストの中の「無線とネットワーク」をタップする。（リストが膨れている場合はスクロールして表示）
3	「Bluetooth」を「オン」にする。
4	イヤホン本体をペアリングモードにする。（LEDインジケータ―が赤/青交互点滅になる。）
5	「Bluetooth設定」→「端末のスキ―の順にタップする。」
6	「BT○○○」の端末をペアに設定する」という表示が出る。
7	表示されたリストのBT○○○をタップする。
8	「BT○○○」をペアに設定して接続する」と表示されるので「接続」をタップする。
9	「BT○○○」（電話オーディオに）接続」などと表示され、イヤホンがスタンバイモード（自動接続完了）になる。

au 携帯電話機（例：au 京セラ KYY06 GRATINA）	
1	メニュー画面を開き、「ツール」を選択を選択する。
2	開いたリストから[Bluetooth]を選択する。
3	【新規登録】を選択する。
4	「登録する機器を登録待ち状態にしてください」と表示。
5	「OK」キーを押す。
6	イヤホン本体をペアリングモードにする。（LEDインジケータ―が赤/青交互点滅になる。）
7	表示された「BT○○○」を選択
8	「○○○○」を入力してOKを押す。
9	「BT○○○」に接続しました。HPS（※プロファイル名）がご利用になれます」と表示される。
10	イヤホンがスタンバイモード（自動接続完了）になる。

※SHARP製の一部機種の場合、初期設定では発信時に携帯電話からBluetooth機器への自動切替えができませんに携帯電話からイヤホンへの通話切替えが必要ですが（→「B.基本操作」参照）、[Bluetooth設定]内の[Bluetooth詳細設定]を選び、「常にハンズフリー」をONにすることで、携帯電話を操作して通話をかけた際のイヤホンへの通話切替え操作を省略できます。

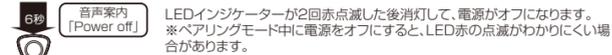
※記載のない機種につきましては、弊社ホームページ及びご利用の携帯電話機の取り扱い説明書をご確認ください。

## 6 基本操作

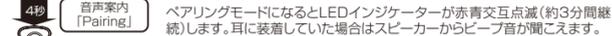


電源オフ（電源を切る） → （電源オン状態から）メインスイッチを約6秒間長押し

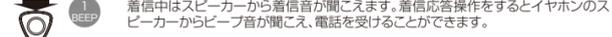
DC プラグにイヤホンを一旦差し込み、自動的に接続が切れて電源もオフになります。



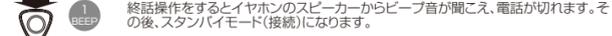
ペアリングモードにする → （電源オフ状態から）メインスイッチを約4秒間長押し



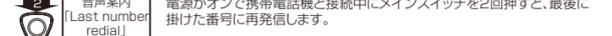
着信応答（電話を受ける）/通話 → （着信中）メインスイッチを短く1回押し



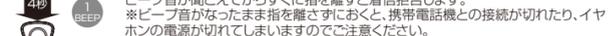
終話（電話を切る） → （通話中）メインスイッチを短く1回押し



ラストナンバーリダイヤルする → （スタンバイモード中）メインスイッチを短く2回押し



着信拒否 → （着信中）メインスイッチを約4秒間長押し

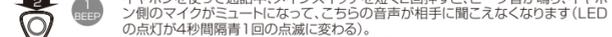


イヤホンから携帯電話への通話切替え → （通話中）メインスイッチを2秒間長押し



スマートフォンでないユーザーがスマートフォンによっては、自動的にBluetooth機器に通話を受け渡さない機種があります。その場合電話をかけて相手を受信状態になった後、本体のメインスイッチを約2秒以上長押しして通話切替えを行うか、携帯電話の画面下の指示に従ってキー操作を行ってください。携帯電話によっては、予めハンズフリー通話の設定を行っておくことで自動切替えも可能です。詳しくは携帯電話の取扱説明書をご確認ください。

マイクミュート/マイクミュート解除 → （通話中）メインスイッチを2回押し



※1一度ペアリングをした後は、イヤホンの電源を入れると、携帯電話を自動的に認識/接続してスタンバイモード（自動接続完了）になります。（自動認識/接続しない場合は、メインスイッチを一度押ししてください。再接続が試行され、接続できる場合があります。）

※2:作動中メインスイッチを押し続けるとペアリングモードになってしまいますのでご注意ください。

※3:携帯電話の機種やバージョンによっては自動認識されず、携帯電話側でBluetooth機器の接続設定を必要としたり、再度ペアリングが必要となる場合があります。詳しくは携帯電話の取扱説明書をご確認ください。本製品をペアリング後、長期間使用していない場合はご利用になる前に携帯電話の接続機器リストより本製品を接続しなおしてください（※ペアリングにはありません。）それでも接続できないときは、携帯電話のBluetooth登録機器リストから「BT800」を削除し、イヤホンの電源を切って満充電まで充電した後、再度ペアリングしてください。

※4:最初に接続した携帯電話のみ、メインスイッチを短く2回押す事でラストナンバーリダイヤルが可能です。2台目に接続した携帯電話機はラストナンバーリダイヤルはできません。

## \*\*\* 音楽再生/ワンセグ音声出力を楽しむ

●音楽再生/ワンセグ音声出力に使用する場合、あらかじめ携帯電話のBluetooth設定で本製品をオーディオ（A2DP）プロファイルにも接続してください。  
●携帯電話の機種、APP（再生ソフトウェア）によっては、音楽再生及びワンセグ音声出力時のボタン操作ができない場合があります。また、携帯電話機側で音量操作ができない場合があります。※携帯電話のOSやAPPのソフトウェアのバージョンアップにより、それまで操作可能だったのができなくなったり、操作が可能になる場合があります。

## \*\*\* DC充電器USBポートの使い方

●DCプラグには外部機器充電用のUSBポートが内蔵されています（5V/2A）。  
※USBポートを使う場合、充電したい機器専用のUSBケーブルを別途用意いただく必要があります。  
●エンジンが掛けた状態で、①DCプラグをアクセサリーソケットに挿し、②ご利用いただいたケーブルのUSB TYPE-AプラグをDCプラグに挿し、③最後に充電したい機器を接続してください。  
●接続する充電ケーブルによっては、うまく充電できなかったり、充電効率が上下する場合があります。※万が一、ご使用の際に発煙、発火、異臭などが発生した場合は、すぐにご使用を中止して、本書添付の保証書に記載の当社「お客様サービスセンター」までご連絡ください。

## 7 マルチポイント（2台同時待ち受け）

本製品は同時に2台の携帯電話と接続が可能です。2台の携帯電話とマルチポイント接続すれば、どちらの携帯電話に着信があっても、本製品を操作して着信を受けることができます。また、片方で本機を使い通話の場合にも片方に着信があった場合、最初の通話を保留にして2台目の着信につなげたり、イヤホンのスイッチで最初の通話を切って、2台目の着信に切り替えたりする事が可能です。

## \*\*\* マルチポイントについて

※Bluetooth機器との再接続メニューがない携帯電話（一部のau携帯電話）はマルチポイント接続できない場合があります。また、再接続メニューがない電話機はマルチポイント接続2台のうち1台として使用できます。この場合、ペアリングは2台目としてください。  
※携帯電話（スマートフォン）機種やOSのバージョンによってはマルチポイント接続できなかったり、マルチポイント接続時の機能が制限される場合があります。

●2台の携帯電話をペアリングする場合は、以下の手順でペアリングしてください。  
①1台目の携帯電話（Bluetooth機器との再接続メニューがある携帯電話）をペアリングしてください。  
②電源が入った状態でメインスイッチを約4秒長押ししてペアリングモード（赤/青のLED交互点滅）にして2台目の携帯電話をペアリング完了してください。（1台目にペアリングした携帯電話とは一旦接続が切れます。）  
③1台目としてペアリングした携帯電話のBluetooth設定を操作して、登録機器リストなどから再接続してください。（ペアリングではありません。）

※マルチポイント接続した状態でイヤホンの電源をオフにすると、イヤホンと最後に通信したBluetooth機器のペアリングだけが記憶され、もう1つの機器のペアリングが切れてしまう場合があります。その際は、次回使用時に上記の②から再度設定してください。

## \*\*\* マルチポイント時の通話に関する操作

●マルチポイント接続中（2台待ち受け時）は、どちらの携帯電話に着信があってもイヤホンから着信音が聞こえます。着信応答、着信拒否などの操作は通常と同じです（→「6.基本操作」参照）。  
※マルチポイントで接続している2台の携帯電話をそれぞれ携帯電話A（以下A）と携帯電話B（以下B）とします。

●（A）、（B）いずれかとBluetooth接続した状態で会話中、もう一台の携帯電話側に着信があった場合は、イヤホンのスピーカーからマルチポイント接続したもう一台への着信を知らせてピープ音（約3秒毎にビープという音）が聞こえます。

●（A）との接続で会話中、（B）に着信があった場合、イヤホン側では次のような操作が選択できます。  
①（A）を終話し、（B）への着信を受けようとする場合は、イヤホンのメインスイッチを短く1回押す。  
②（A）を一旦保留し、（B）への着信を受けようとする場合は、イヤホンのメインスイッチを短く2回押す。

※①を選択した場合、（B）との通話中に再度（A）に着信があった場合は、上記①、②の操作を選べます。  
※②を選択した場合、メインスイッチを短く1回押すと、今度は（B）の終話して、最初に保留していた（A）との通話に戻ります。

※②を選択した場合、メインスイッチを短く2回押すと、今度は（B）での通話を保留して、最初に保留状態にしていた（A）との通話に戻ります。

※自動接続の順番や接続状況、携帯電話によっては、ペアリング時と1台目/2台目の認識（リダイヤル操作）が逆になる場合があります。

## 8 リセット（イヤホン初期化）

### \*\*\* リセットの手順

●イヤホンリセットし出荷時の状態に戻す方法です。リセットするとイヤホンに登録されているすべてのペアリング履歴が消えます。音声の調子が悪くなった時、接続が不安定な時、携帯電話機を機種変更した場合はイヤホンに接続する携帯電話を変更した場合は、お問い合わせの前に、本機を一度リセットしてご使用願います。  
●適合が確認されている機種とペアリングができなかったり、ペアリング済みの携帯電話が突然認識できなくなった場合などは、リセットして再度ペアリングしなおすことで不具合が改善する場合があります。

1. 携帯電話機側と本機の接続を切ってください。ペアリングも登録も携帯電話機を操作して解除してください。電源オンの状態で、メインスイッチを約4秒長押しして、ペアリングモードにしてください。
2. LEDインジケータ―が赤/青に点滅したのを確認して、指を離してください。
3. メインスイッチを短く2回押すとリセットが行われ、「紫色」1回点灯した後に赤/青交互点滅でリセット完了自動でペアリングモードに移行します。
4. この状態でメインスイッチを6秒押すと電源がオフになり、工場出荷状態となります。

✖️ X

- ◆携帯電話に登録されているリストから削除する場合は、携帯電話の取扱説明書を参照してください。
- ◆リセット後にイヤホンの電源をオンに立ち上げると、自動的にペアリングモードになります。
- ◆マルチポイント接続していた場合でも、イヤホン側に登録されているすべてのペアリング履歴が消えます。

## 9 便利な機能

### \*\*\* リンク切断後の再接続試行

●ペアリングされた携帯電話がイヤホンの通信範囲（約10m）から離れた場合や、携帯電話の電源が切られた場合など、接続（リンク）が切断したときは警告音（「PIPIPIPIPI」）が鳴り、赤/青のLEDが交互に5回点滅します。その後約5分間はイヤホンから10秒毎に「PIPIPIPIPI」という警告音が鳴るようになり、LEDインジケータ―が約10秒間隔での青/赤5回の点滅を繰り返します。  
●その場合、約3分以内に通信範囲（約10m）に戻ると、自動再接続します（通話状態でない場合、LEDが5秒間隔3回の点滅）。  
●3分以上離れたままの場合は携帯電話との接続が自動で切れ、その後さらに約5分が経過すると自動的に電源もオフになります。電源が切れる前であれば、メインスイッチを1回押すと再接続を試みます。

### \*\*\* 充電電池残量警告機能

●イヤホンの充電電池残量が少なくなった場合、60秒ごとにイヤホンのスピーカーから音声で「Low battery」とお知らせします。そのまま使用を続けると数分で電池残量がなくなり電源が切れてしまいますので、お早めに充電してください。

### \*\*\* Siriを起動する（iOS5.1以上/iPhone4s以降に対応 ※2015年12月現在）

●スタンバイモード（自動接続完了）時にイヤホンのメインスイッチを約2秒長押しする（ビープという音が聞こえたら指を離す）と、iPhoneのSiri Appがハンズフリーで起動し、Siriを使っての音声入力やBluetoothのマイクが可能になります。終了したい場合はもう一度メインスイッチを2秒長押ししてください。

●iPhoneでの音楽再生中にイヤホンのメインスイッチを2秒長押しすると、音楽が自動的に一時停止し、Siriが起動します。この時はSiriが終了するまで、音楽は再生しません。iPhoneが自動ロック状態になるとSiriが終了し、音楽が自動再生します。（長押しではなく、メインスイッチを短く1回押しすると一時停止になります。）

※上記操作はiOS及びソフトウェアのアップデートなどにより、操作が変更もしくは限定される場合があります。

## 8 トラブルシューティング

●故障かな?と思ったら、お問い合わせいただく前に、本取扱説明書をもう一度お読みになり、操作に誤りがないかご確認ください。また、次の項目をご確認ください。

- 以下のような症状で使用できない場合の対処法
- 携帯電話で検索（サーチ）しても「BT800」が表示されない
  - ペアリングは完了したが接続できない
  - ペアリング済みの携帯電話が再接続（自動再接続）できない
  - ペアリング済み、接続済みの携帯電話で通話できない

このような症状が続く場合は、電波障害や一時的なフリーズが原因だと考えられます。対処方法として下記の操作をお試しください。

- ①携帯電話の電源をオフにして、再度電源をオンにする。
  - ②イヤホンの電源をオフにして、再度電源をオンにする。
- 上記の方法でほとんどの症状が解消されますが、解消しない場合は、携帯電話のBluetooth登録機器リストから「BT800」を削除し、一度イヤホンを充電した後、再度ペアリングしてください。それでも解消されない場合は、本書の「B.リセット」をお試しください。

症状や疑問点	確認していただくこと
電源がオンにならない	イヤホンの充電電池が十分に充電されていない可能性があります。DCプラグにイヤホンを一度差し込み、取り出してみてください。自動で電源が入ります。
電源をオンにするとき赤/青交互点滅にならない	イヤホンがどの携帯電話ともペアリングされていない状態（お買い求め直後や、リセット直後の状態）では、電源をオンにする、自動的にペアリング待ちモードになります。
ペアリングモードにならない	メインスイッチを押す時間が短い可能性があります。
ペアリングができない	イヤホンのペアリングモードが終わらないうちに、携帯電話での周辺機器サーチを完了してください。イヤホンの充電電池残量が少ない状態では、ペアリングが成功しにくい場合があります。十分に充電してから、再度お試しください。
周囲の電波が強い場所では正常に接続できない	周囲の電波が強い場所では正常に接続できない場合があります。別の場所で再度お試しください。
携帯電話が不安定であったり、ペアリング手順が間違っている可能性があります	適合とペアリング手順をもう一度確認いただき、可能であれば他の携帯電話（適合機種）で一度ペアリングをおためしください。
通話中にノイズが聞こえる	携帯電話機の音声レベルは機種によって異なります。機種によっては元々音声レベルが高かったり、音声出力が小さいなど、ノイズや自分の声が聞こえやすい機種があります。（ハンズフリータイプシャワー製の一部機種など）
通話中にノイズが聞こえる	本製品を含むBluetooth機器同士で通話すると、通話開始時に音が聞こえる場合がありますが、異常ではありません。
イヤホンが耳にしづらい	イヤホンが耳にしづらい状態が悪い可能性があります。携帯電話の画面で、電波レベルを確認してください。また他の無線機器と接続している場合や、携帯電話の電波が混雑しやすい環境下、携帯電話のつながらにくい環境下では、本製品の使用の有無に関わらず通話品質が落ちる場合があります。
イヤホンが耳にしづらい	携帯電話と通話障害が起きている可能性があります。携帯電話との距離が離れすぎていないか、携帯電話との間に電波を遮断するような物や、電気機器などがないか確認してください。
イヤホンが耳にしづらい	携帯電話をスマホの後ろポケットやバッグ類に収納している場合など、携帯電話とイヤホンとの間に身体を挟むとノイズの原因となる場合があります。
イヤホンが耳にしづらい	イヤホンが耳にしづらい状態が悪い可能性があります。耳に確実に装着してください。
イヤホンが耳にしづらい	電源がオフになっている可能性があります。正常ではイヤホンのLEDは5秒間隔で青2回点滅。
イヤホンが耳にしづらい	携帯電話とペアリング及び接続ができていない可能性があります。ペアリング及び接続が正常に行われているか、確認してください。
イヤホンが耳にしづらい	音量が小さくなっている可能性があります。音量を調節してください。
イヤホンが耳にしづらい	携帯電話を操作して発信ダイヤルすると、携帯電話での通話と異なる場合があります。イヤホンで通話する場合は、メインスイッチを約2秒間長押しして本機に接続を切り替えてください。
イヤホンが耳にしづらい	通話中にメインスイッチを2秒長押しすると、通話が携帯電話に切り替わり、イヤホンから音が聞こえなくなります。その後の通話及び操作は携帯電話で行ってください。
イヤホンが耳にしづらい	携帯電話と通話障害が起きている可能性があります。携帯電話との距離が離れすぎていないか、携帯電話との間に電波を遮断するような物や、電気機器などがないか確認してください。
イヤホンから発信ダイヤルできない	イヤホンの操作だけの発信ダイヤルは、ラストナンバーリダイヤル（一番最後に発信した番号へのリダイヤル）のみとなります。指定の番号にダイヤルしたい場合は、携帯電話を操作して発信ダイヤルし、その後、イヤホンに通話を切り替えてください。
イヤホンからリダイヤルできない	HPP（ハンズフリープロファイル）が使用できない携帯電話では、イヤホンからのリダイヤルはできません。携帯電話の発信履歴などから通常操作してダイヤルしてください。
使用中に電源が切れる	HSP（ヘッドセットプロファイル）で接続している可能性があります。
使用中に電源が切れる	マルチポイント時に2台目まで接続した携帯電話機のラストナンバーリダイヤルはできません。
使用中に電源が切れる	十分に充電した状態で頻りに切れるようであれば、携帯電話のBluetooth登録機器リストから「BT800」を一度削除し、再度ペアリングしてください。
使用中に電源が切れる	携帯電話機と10m以上離れた時間が連続で約8分以上を超えると、省電力モードに移行し、電源が自動的に切れる仕様となっています。その場合は再度、電源を入れ直す作業が必要です。
ペアリング成功後に電源が再投入する	携帯電話の機種やバージョンによっては自動認識されず、携帯電話側でBluetooth機器の接続設定を必要としたり、再度ペアリングが必要となる場合があります。詳しくは携帯電話の取扱説明書をご確認ください。
ペアリング成功後に電源が再投入する	本製品をペアリング後、長期間使用していなかった場合は、自動認識されない場合があります。ご使用になる前に携帯電話の接続機器リストより本製品を手動で再接続してください（※ペアリングではありません。）
ワンセグの音声や音楽が聞こえない	携帯電話機側がSCMS-T対応かどうかご確認ください。携帯電話機が対応していない場合、ワンセグ放送は聞けません。
ワンセグの音声や音楽が聞こえない	ハンズフリーの他に、A2DPもしくはオーディオでの接続がされているかご確認ください。詳しい接続方法は携帯電話の取扱説明書をご確認ください。
カーナビと接続したい	本製品はカーナビとの直接接続での使用はできません。
パソコンと接続したい	パソコン側のBluetooth機器がHSP（ヘッドセットプロファイル）に対応していない場合は接続できませんが、相互接続はOSやソフトウェアなどの互換性によることから保証しておりません。また、パソコンとの接続に関するサポートは一切行っておりません。
通話/スタンバイ時間が短くなった	内蔵充電電池は消耗品です。長期間の使用（充電と放電の繰り返し）により、通話時間/スタンバイ時間が少しずつ短くなります。十分に充電した状態で、通話/スタンバイ時間が短くなったたり、ご使用できないようになった場合は、充電電池の寿命です。充電電池の交換はできません。新しい製品をご購入ください。
イヤードピースが破損または紛失した	本製品に付属のイヤードピースは、保証対象外の消耗品です。本製品をお買い求めになったお店で取り寄せが可能ですので、必要に応じてお買い求めください。
DCプラグが破損・紛失した	保証期間内の製品の不具合は修理、交換いたします。保証期間外や、取扱い不注意による破損、紛失の場合、修理、交換、代金返しの提供はできませんのでご了承ください。
イヤホンがDC充電器で充電できない	DCプラグがお車のアクセサリーソケットに挿し込まれているか確認してください。
マルチポイント接続ができない	DCプラグにイヤホンが正常にセットされているかご確認ください。正常にセットされていない場合は、DCプラグの汚れや接続不良（赤/青交互点滅）の原因が考えられます。
マルチポイント接続ができない	DC充電器側のケーブルが接続されている可能性があります。充電ケーブルを回して取り出し、ヒューズが切れていないか両者の新しいケーブルと交換してください。
マルチポイント接続中、着信音が聞こえない	一部の携帯電話などのBluetooth機器との再接続メニューがない機種同士は、本製品ではマルチポイント接続ができません。Bluetooth機器との再接続メニューがない携帯電話は、2台目として登録してください。
マルチポイント接続中、着信音が聞こえない	マルチポイント接続している2台のうち、1台の携帯電話で通話中、別の携帯電話に着信があった場合、イヤホンから着信音が聞こえない項目も確認してください。

※接続する携帯電話の取扱説明書も必ずご確認ください。